

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年11月30日（金）9：30～

場 所 浜田市立浜田東中学校 1年1組教室

授業者 佐藤 美幸

1 単元名 情報への接し方と用い方について考える ～情報を吟味しながら読もう～

2 単元のねらい

○ 情報への接し方や情報の用い方についての学習に関心を持ち、意欲的に情報を吟味しながら読もうとする。 【国語への関心・意欲・態度】

○ 文章から読み取ったことを手がかりにして、情報への接し方や用い方について考え、ものの見方を広くすることができる。 【読む能力】

○ 情報の選び方や表現によって印象が異なることを理解し、意識して活用することができる。 【言語についての知識・理解・技能】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
情報への接し方や用い方についての学習に関心を持ち、意欲的に情報を吟味しながら読もうとしている。	文章を読み取って分かったことや考えたことから、情報への接し方や情報の用い方について、自分のものの見方を広くしている。(オ)	言葉の選び方や表現によって与える印象が異なることを理解し、文章の中の語彙に関心を持っている。 イ(ウ)

4 単元設定について

本単元は、「読むこと」の指導事項「オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。」(自分の考えの形成)に対応している。学習指導要領の言語活動例ウ「課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること」を踏まえ、教材文から読み取ったことを手がかりにして考えを交流し、自分のものの見方や考え方を確かなものにさせる。さらにそうした自分の考えを今後働かせることができるようになるために、言語活動として実際に資料を見極めていく活動を行う。

多くの情報があふれる現代に生きる私たちには、自分の必要に応じて情報を選択し、疑問をもって批判的に読み取り、活用する能力が必要である。客観的なものであると考えがちな情報であっても、多くの事実の中から人間の手で編集されるものである以上、そこには編集者の意図がこめられている。私たちがよりよく情報を活用するには、情報を見極める力が必要である。

<個人情報保護のため省略>

これらの視点から、本単元での教材文「ニュースの見方を考えよう」(池上彰)は、情報に対する生徒の見方や考え方を広げるにふさわしい文章といえよう。筆者の知名度も高く、体験をもとにした具体的な事例は説得力があり、生徒も興味を持ちやすいであろう。また、中学1年生を対象とした分かりやすい用語が使われており、構成も事例の後にまとめという形で統一されていて主張を把握しやすくなっている。

「情報への接し方」の学習としては、小学校第5学年及び第6学年の指導事項(オ)「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」などを受けている。

<個人情報保護のため省略>

そこで、指導に当たっては、まず実際に1つの事柄に対しての複数の情報を比較しながら読むことで、課題意識を持たせたい。その課題を解決するために、教材文「ニュースの見方を考える」を読み、読み取ったことを手がかりにして、情報への接し方について自分の考えを持たせたい。最後に、教科書のてびきにある2つのインターネット情報や身近な情報を吟味しながら読むことに挑戦することで、情報を見極める力を日常生活の中で発揮していくことができるようにさせたい。

5 単元の指導計画と評価計画（全5時間）

次	時	目 標	主な学習活動	国語	読む	言語	評価規準（評価方法）
1次	1	違いに気づき、課題意識を持つ。	①ツイッター、新聞、画像などの複数の情報を比較して、それぞれどんな印象を受けたか伝えあう。 ②印象や誤認が生じた原因について話し合う。 ③事例から情報への接し方と情報の使い方について考える。	○	○		【読】複数の情報を比較して、その印象の違いについて読み取っている。 （観察・ワークシート） 【国】情報への接し方や使い方についての学習に関心を持ち、今後の学習に向けて課題をもっている。（ワークシート）
2次	2 3	○教材文を読み、筆者の主張をとらえる。	①前時に考えた課題を確認する。 ②教材文「ニュースの見方を考えよう」に挙げられた事例と筆者の主張を捉える。	○	○	○	【国】活動に関心を持ち、意欲的に意見交換をして課題を解決しようとしている。（観察） 【読】課題に沿って、筆者の主張を読み取っている。（観察） 【言】言葉の選び方や表現によって与える印象が異なることを理解し、文章の中の語彙に関心を持っている。（観察・ワークシート）
3次	4 （本時）	○情報への接し方について自分の考えを持つ。	①教材文の読み取りを手がかりにして、情報を見極めるために必要なことについて話し合う。 ②情報への接し方について自分の考えを持つ。		○		【読】読み取ったことを手がかりにして、情報への接し方について自分の考えを持つことができている。（観察・ワークシート）
4次	5	○情報に接する場合に気をつけることを実践しようとする。	①前時の考えを発信する。 ・毛筆で書いて掲示（事後） ②他のニュースやインターネットの情報などの事例を吟味しながら読む。 ・手引き④のインターネットの2つの情報を比較 ③単元全体のふりかえりをする。	○	○		【国】情報に対する接し方や情報の使い方について意識しようとしている。 【読】情報への接し方や情報の使い方について、自分のものの見方を広くしている。（観察・ワークシート）

6 本時の学習（第3次 4時間目）

① 本時のねらい

読み取ったことを手がかりにして、情報への接し方について自分の考えを持つ。【読む能力】

② 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価（評価方法）
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>情報への接し方について 自分の考えを持とう。</p> </div> <p>2 「これまでの自分の考え」と「筆者の考えから読みとったこと」をそれぞれあげながら、配慮すべき事項を確認する。</p> <p>3 情報を受け取る側として情報を見極めるために必要なことを自分で考える。</p> <p>4 自分の考えをグループ内で伝え合う。 ・話し合い活動</p> <p>5 他のグループに話し合いの内容を伝える。 ・報告活動</p> <p>6 本時の気づきから、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○これまでの学習で身につけた力を確認させる。</p> <p>○教材文などから読み取った表現を根拠として活用させる。</p> <p>○必要である理由を説明するように促す。</p> <p>○意見交換をもとに、自分の考えを確かめたり、補ったりさせる。</p>	<p>【読】教材文から読み取ったことやこれまでの学習経験を手がかりにして、情報への接し方について自分の考えを持つことができている。 (観察・ふりかえり)</p>

③ 本時の評価

観 点	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
読む能力	文章から読み取ったことを手がかりとして、情報の扱いについて配慮すべきことを考え、意見交流をすることで自分の考えを確かめることができている。	文章から読み取ったことを手がかりとして、情報の扱いについて配慮すべきことを考え、意見交流をすることで自分の考えを持つことができるようになっている。	前時までの事例や筆者の考えをまとめたものを見直して考えさせる。 また、意見交流したことを参考に、自分の考えを持たせる。